

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：36010
学校名：藤野中学校

改訂のポイント

「基礎基本の定着」のためのプログラムを3つの視点、9つの具体策で構成し、各具体策を校務分掌各部が担当し、立案、推進することとしたこと。（3カ年計画2年目）

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆意欲的に授業や家庭学習に取り組む生徒。 ☆主体的で対話的な学び合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる生徒。		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ・寺子屋による下級生指導。・生活管理票による学習習慣の確立。・検定等の推奨。	【成果】 ⇒自ら学びに向き合う場を増やし、徐々に意識を高めることができた。	【課題】 ◇学びに向き合う意識を校内に醸成する。〈視点②〉 ◇家庭学習習慣の確立。〈視点③〉
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 「主体的・対話的で深い学び」が生起される授業を展開する。	【成果】 ⇒他者と協働して学ぶ姿勢が身についてきた。	【課題】 ◇他者との協働のなかで自分の考えを深めたり広げたりすること。〈視点②〉
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 短文読解力向上のための、意味理解小テストの実施。	【成果】 ⇒文意を正しく理解することに対する意識が高まってきた。	【課題】 ◇短文読解力を向上させる。〈視点①〉
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 定期的に各取組の検証とフィードバックを行い、課題を全校で共有し、各取組が有機的に運用されること		
	具体的な改善策（取組）	【視点① 短文読解力の向上】 ア 教科書文章の意味理解に留意しながら授業を進める。 イ 教科書文章の意味理解を問う平常テストを実施する。 ウ 精読が必要な問題集を補習等で実施する。 エ 新聞を定期購読し図書室に設置する。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○学校評価生徒、保護者、教職員アンケートの活用 ○「学習などについてのアンケート」の活用 ○全国学力・学習状況調査の活用		